



国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構

FFGアントレプレナーシップセンター

受講のための 手引き2022

Study Guidance 2022



時代のうねりから 次代の創造へ。

*From the Social Upheaval of the Times,
To the Creation of the Next Generation*

長崎大学からあなたの創造性を発揮しよう!
失敗を恐れず、自ら考え行動できるアントレプレナーを目指そう!

From Nagasaki University, Realize Your Creativity and Aim to be an Entrepreneur!

長崎大学研究開発機構FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)は、2019年10月、長崎大学とふくおかフィナンシャルグループとの連携協定に基づき、アントレプレナーシップ教育の実施と大学発ベンチャー創出支援を目的とする寄附講座として、開設されたセンターです。

NFECは、第一に長崎大学の全学部生、全大学院生を対象として、体系的なアントレプレナーシップ教育・人材育成プログラムを実施することにより、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供し、自立心・向上心に溢れ、課題解決による新しい価値創造への意欲を持ったアントレプレナーの育成を目指します。

第二に、大学における研究開発成果である技術や知的財産の事業化・実用化を促進し、大学発ベンチャーの創出を支援することによって、新産業創造及び地域経済の発展に貢献することを目指します。

第三に、アントレプレナーシップ教育やベンチャー創出に関心持つ地域企業、地方公共団体、他大学・高専・高校等との交流・連携を通じて、地域全体のスタートアップエコシステム、イノベーションエコシステムの構築を目指します。

未来を見通すことが難しい時代を迎えた今こそ、あなた自身の創造性を発揮し、豊かな資源と歴史・文化の宝庫である長崎の地から、長崎大学に集積する様々な分野の知を活かしてイノベーション創出に挑戦する、アントレプレナーを目指してみませんか?

アントレプレナーシップや大学発ベンチャーにご関心のある皆さん、NFEC教育・人材育成プログラムの受講をお考えの皆さんは、まずは、お気軽にNFECへ足を運んでいただけたら幸いです。お会いできるのを楽しみにしています。

FFGアントレプレナーシップセンター
教員・スタッフ一同

長崎大学から新しい価値創造に チャレンジしよう!

学長メッセージ

Message from the President



President of Nagasaki University

Shigeru Kohno

2020年1月、長崎大学の将来ビジョン、戦略目標として「プラネタリーヘルスへの貢献」を宣言しました。地球やそこに生きる生物の存続を危うくする地球規模の課題は、独立して存在するのではなく、相互に複雑に絡まり合っています。紛争の背景に潜む経済格差や、途上国の経済発展と温暖化対策の両立の困難さなどはその代表でしょう。このように解決すべき課題が複雑化し、事業環境の不透明感が増加している昨今において、私たちは多面的な知の連鎖を誘発し、オープンイノベーションを推進することで、不確実な時代を乗り切っていく必要があると考えています。

そのような中、長崎大学全ての学部生・大学院生を対象として、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供することにより、自立心、向上心を有し、新しい価値創造にチャレンジし、自ら課題解決に取り組むことができる次世代のアントレプレナー人材を育成することを目的に、ふくおかフィナンシャルグループの寄附講座として、本学研究開発推進機構内に「FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)」が開設され、2020年4月から本格的に活動を開始しました。コロナ禍という厳しい状況が続いていますが、「アントレプレナーシップ教育」と「大学発ベンチャー創出の支援」に懸命に取り組みを推進しています。

NFECの第一の使命は、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲をもったアントレプレナーシップ人材を育成することであり、既に、長崎大学で多くの学生や社会人履修生の皆さんがNFEC教育／人材育成プログラムに積極的に参加されています。NFECの第二の使命は、大学における研究開発の成果である技術シーズ(知的財産)のインキュベーション活動を通じて大学発ベンチャーの創出を支援し、ひいては新産業の創出及び地域経済の発展に貢献することであり、既に、長崎大学における技術シーズ(知的財産)の市場性評価や事業化検証が行われ、その成果の芽が出始めています。

このように、若い世代の斬新な発想を活かした従来の枠に捕われないアントレプレナー人材を育成し、大学発ベンチャー創出の支援を行っていくことは、AI(人工知能)やIoT、ビッグデータを活用したデータサイエンスの隆盛など、デジタル化への対応が我が国全体の課題であることから、本学におけるNFECの活動はきわめて大きな意義があるといえます。今後、NFECをきっかけに、多くの学生が先進的なイノベーション教育・研究の機会を得ながら起業家精神を培い、地域の様々な課題に対する解決策を探り、長崎を起点とした新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナー人材が育っていくことを大いに期待しています。

積極的に新しいことにチャレンジしたい諸君。是非、NFECで先進的なイノベーション教育・研究を体験し、新しい価値創造にチャレンジしてみませんか。

長崎大学 学長 河野 茂

1. 皆さん、NFECをご存じですか？

➡ NFEC(Nagasaki University, FFG Entrepreneurship Center)は、
長崎大学研究開発推進機構に開設された新しいセンターです

FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)は、2019年10月、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ(FFG)の寄附講座として、長崎大学研究開発推進機構内に開設されました。NFECでは、次世代のアントレプレナー人材の育成を目指して、学部生・院生向け教育プログラム、社会人向け履修証明プログラム、研究者向けインキュベーションプログラムを提供していきます。

➡ NFECは、「アントレプレナーシップ」を
習得する機会を提供します

「機会を見つけて自ら考え行動し、失敗を恐れずチャレンジできる自分になりたい!」

「社会課題の解決に取り組んで、世の中に新しい価値を創り出したい!」

「起業に必要なスキルや知識を身につけて、将来ベンチャーに関わってみたい!」

「研究成果のテクノロジーを事業化して、社会に役立つビジネスを立ち上げたい!」

そんな夢や目標を持つあなたにとって、NFECでの学びや仲間との出会いが、
自らの大きな飛躍のきっかけになるはずです。



➡ 学部生・院生は、NFECが実施する授業をだれでも受講できます

学部や研究科の枠を超えて、多様なバックグラウンドを持った仲間と共に
学び、切磋琢磨する場を持つことは、あなたの視点、視野、視座を広げる
チャンスになるでしょう。科目によっては、社会人の方と一緒に学び議論
する機会も得られます。(履修登録または受講申込が必須となります。)



➡ NFECの授業は、自ら積極的に学び、仲間と互いに学び合う場となります

NFECが提供する教育プログラムでは、座学だけでなく、受講生同士による
グループディスカッション、第一線で活躍されているゲスト講師によるご
講演、ワークショップ、課題解決型学習(Project Based Learning)、ビデオ
授業など、様々な講義手法を採用します。「受け身で答えを教わる」ので
はなく「自ら学び、仲間と互いに教え学び合う」体験ができます。



FFGアントレプレナーシップセンターの概要

●名称

国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター

●開設時期

2019年10月(2020年4月から教育プログラム開講)

●講座形式

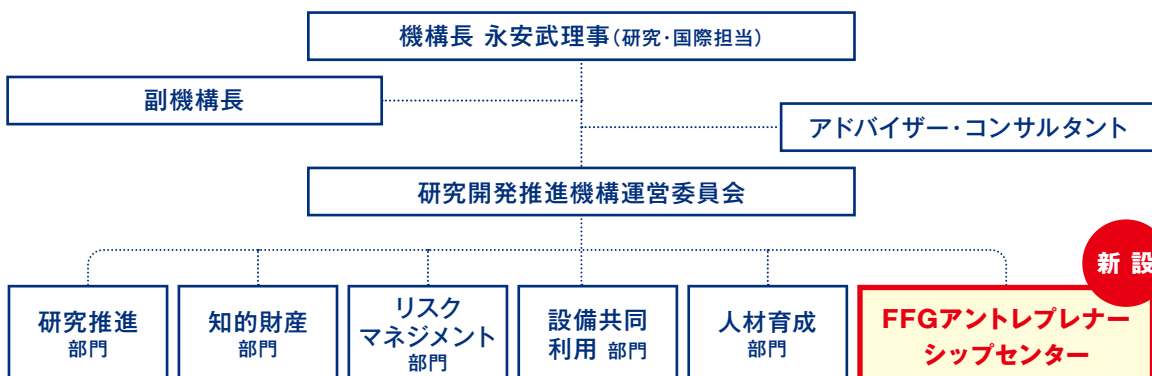
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ寄附講座

●履修対象者

長崎大学全学部の学部生・全学科の大学院生／
他大学学部生・高専生／他大学大学院生・社会人
(履修証明プログラム)

●組織図

FFGアントレプレナーシップセンターは長崎大学研究開発推進機構の一部門として新設されました。



FFGアントレプレナーシップセンターの使命

- ① 長崎大学の全ての学部生・大学院生を中心に、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供することにより、自立心、向上心を有し、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲を持ったアントレプレナー人材の育成を目指します。
- ② 大学における研究開発の成果である技術や知的財産のインキュベーションに取り組むことにより、大学発ベンチャーの創出を支援し、ひいては新産業の創出および地域経済の発展に貢献することを目指します。

FFGアントレプレナーシップセンターの活動内容・特色

- ① 長崎大学全ての学部生・大学院生を対象として、体系的なアントレプレナーシップ教育プログラムを実施することにより、先進的なイノベーション教育の機会を提供。
- ② 大学における研究開発の成果である技術・知財の事業化・実用化を促進し、ベンチャー創出を支援するためのインキュベーションプログラムやセミナーを実施。
- ③ アントレプレナーシップ・イノベーションに関する研究およびそれらの教育手法に関する研究の実施。
- ④ アントレプレナーシップやベンチャー創出に関心を持つ長崎県内の他大学学部生、大学院生、高専生、社会人に対して、教育プログラムやインキュベーションプログラムへの参加機会を提供。
- ⑤ アントレプレナーシップやベンチャー創出に関心を持つ地域企業、地方公共団体、他大学等に対する情報発信ならびに交流・連携の機会を提供。

2.NFECで何が学べるのか？

「アントレプレナーシップ」を身に付け、アントレプレナーに必須となる知識、スキル、マインドセットを習得できます

変化が激しく未来を見通すことが難しい毎日において、皆さん自身が機会を見つけて、様々な問題に対して新しい選択肢、解決方法、ビジネスなどを創り出すことによって、自分自身の価値を高めて夢や目標を実現したり、広く世の中に価値を提供することにチャレンジできます。そのチャレンジに必要な知識、スキル及びマインドセットを習得できるのがNFECです。

「アントレプレナーシップ」の意味とは？

今回、「アントレプレナーシップ」という言葉を始めて知った人もいるかもしれません。「企業家精神」「起業家精神」と翻訳されることが多く、「企業を興す人、起業する人が持つマインドセット（思考様式、価値観、信念）」という狭い解釈をされる場合もあります。しかし、NFECでは、欧米の学者による定義なども参考にしつつ「アントレプレナーシップ」を「様々な問題、予期せぬ変化、不確実な状況などに直面しても、それをチャンス（機会）と捉えて、失敗を恐れず新価値創造に向けて行動できるマインドセット」と解釈し、起業を目指す学生のみならず、失敗を恐れずにチャレンジする力をつけたい学生、自立心を持ってキャリアを開拓したい学生も広く支援していきます。

NFECが目指すアントレプレナー人材像とは？

- ◎自立心、向上心を有し、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲を持った人材
- ◎自らコントロールできない不確実な状況に面しても、変化を機会と捉えて活用できる人材
- ◎多面的な視野、視座、視点を持って課題を発見し、解決するアイデアを創造し可視化できる人材
- ◎研究開発の成果である技術を活かして、独創的な新事業コンセプトを創造できる人材
- ◎地域の課題に対する解決策を探り、長崎を起点とした新しい価値創造を行って地域経済の発展に貢献できる人材



3. NFEC教育・人材育成プログラムの特徴は？

特徴①：全学部の学部生、全研究科の大学院生が対象です

「NFEC教育・人材育成プログラム」は、長崎大学の全学部・全研究科に属する学部生、大学院生を対象とした教育プログラムであり、多面的な視野、視座、視点を持って社会課題を発見し、それらの課題を解決する新事業アイデアを創出し、地域に根差した新しい価値創造に貢献できるよう、受講生がアントレプレナーシップを身に付け、アントレプレナーに必須となるスキルや知識を習得することを目指すためのプログラムです。

特徴②：入門3科目、基礎4科目、応用3科目、実践2科目の4ステップの教育プログラムから構成され、合計12科目の授業が体系的に実施されます

「NFEC教育・人材育成プログラム」は、入門3科目、基礎4科目・応用3科目・実践2科目の4ステップ全12科目から構成される体系的な教育プログラムです。

◎入門プログラム(3科目)

学部生を対象とした教養教育科目である「アントレプレナーシップ入門」「アイデア創出・デザイン思考入門」「事業創造・スタートアップ入門」の3科目から構成されます。

◎基礎プログラム(4科目)

大学院博士前期課程・社会人を対象とした科目である「アイデア創出・デザイン思考演習」「ビジネスプランニング演習」「アントレプレナー・ファイナンス論」「技術マーケティング・顧客開発論」の4科目から構成されます。

◎応用プログラム(3科目)

大学院博士後期課程・社会人を対象とした科目である「先端技術事業化論1(AI/IOT/ブロックチェーン)」「グローバルアントレプレナーシップ論」「イノベーション論(イノベーション・技術戦略・地財戦略・出島戦略)」の3科目から構成されています。

◎実践プログラム(2科目)

社会人を対象とした履修証明プログラム科目である「技術マネジメント・組織論」「先端技術事業化論2(デジタル×メディカル/ヘルスケア)」の2科目から構成されます。

特徴③：授業を受講し、一定の要件を満たした場合、NFECから科目毎に、受講完了証として「オープンバッジ」が発行されます

「オープンバッジ」とは、世界的な技術標準規格に準拠した、資格・スキル・能力等を示すデジタル証明書です。ブロックチェーン技術を取り入れているので、偽造、改ざんが困難な信頼のおける学習証明書の役割を果たします。NFEC教育・人材育成プログラムの授業を履修し、一定の要件を満たした場合、科目毎にNFECから「オープンバッジ」が授与されます。受講生は自分自身の「マイウォレット」をWEB上に持つことができ、マイウォレット内に受講した科目の「受講完了証」であるオープンバッジが表示されます。取得したオープンバッジを公開することもできますので、就職活動などで自分自身の学習履歴をアピールすることに活用できます。



4. 2022年度 NFEC教育・人材育成

科目レベル	履修対象者	2022年度 前期	
		第1クォーター	第2クォーター
		4～6月	6～8月
チャレンジ イベント	アントレプレナー 実践プログラム (学内)	「アントレプレナーシップ実践プログラム～Realize your Creativity!～」とは、NFEC教育プログラムで学習した内容に基づき、学生自ら企画・立案したプロジェクトに挑戦する実践プログラムです。長崎大学の学部生、院生を中心として構成される学生チームが、自	
	長崎学生 ビジネスプラン コンテスト2022 (学外)	「長崎学生ビジネスプランコンテスト2022」とは、起業を目指す、または既に起業している長崎県内の大学生、高専生、大学院生、留学生などを対象としたビジネスプランコンテストです。大学や高専などの技術シーズを活用したビジネス、社会課題を解決するビジネ	
	九州・大学発 ビジネスプラン コンテスト (学外)	「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」とは、起業を目指す、または既に起業している九州内の大学生、院生、研究者、留学生、高専生、短大生、専門学校生等を対象として、学内の技術シーズを活用した事業や社会課題アイデア、食や農業、観光、海洋、	
実践 プログラム 科目	社会人対象		
応用 プログラム 科目	社会人・ 大学院博士後期 課程学生対象		▲先端技術事業化論1 (AI/IOT/ブロックチェーン) 7/10(日)2～5時限 7/23(土)2～5時限
基礎 プログラム 科目	社会人・ 大学院博士前期 課程学生対象		●ビジネスプランニング演習 (アントレプレナーシップ応用) 6/15～8/3(水) 6時限
入門 プログラム 科目	学部生対象		★アイデア創出・デザイン思考入門 6/15～8/3(水) 5～6時限
		★アントレプレナーシップ入門 4/13～6/8(水) 5～6時限	
		第1クォーター (4～6月)	第2クォーター (6～8月)

プログラムロードマップ&スケジュール

※チャレンジイベントについてご関心・ご質問のある方は、NFECのWEBサイトまたはメールを通じて、直接お問い合わせください。

	2022年度 後期	
夏期集中	第3クォーター	第4クォーター
8～9月	9～12月	12～2月

ら企画・立案したプロジェクトテーマについて応募し、審査会の審査を経て採択されると、プロジェクトに対して活動推進費が助成されます。学生皆さんの若い感性と斬新な視点を活かして発想したアイデアを活かし企画・立案したプロジェクトを通じて、学生自らがアントレプレナーシップと創造性を発揮することを目的としたプログラムです。

スアイデア、食や農業、観光、海洋、水産などの地域の特色を活かしたビジネスアイデアなどについて応募し、教育プログラムに参加してアイデアをブラッシュアップした後、コンテストに挑戦することができます。

水産などの九州の特色を活かした事業などを応募し、1次審査、2次プレゼン審査を経て、勝ち残ると最終プレゼン審査に挑戦することができます。ここで入賞すると、賞金が授与され、ビジネスコンテストの全国大会に挑戦する権利を得ることができます。



5.2022年度 NFEC教育・人材育成

対 象	科 目	担当教員・講師	日 程	開講時期	時 間	場 所
学部生対象	入門プログラム科目 ★アントレプレナーシップ入門	上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	4/13・4/20・4/27 5/11・5/18・5/25 6/1・6/8 (水)	第1クォーター	水曜5・6時限 (16:10~19:20) ※最終回は5時限のみ (全15コマ)	文 教
	入門プログラム科目 ★アイデア創出・デザイン思考入門	上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	6/15・6/22・6/29 7/6・7/13・7/20 7/27・8/3(水)	第2クォーター	水曜5・6時限 (16:10~19:20) ※最終回は5時限のみ (全15コマ)	文 教
	入門プログラム科目 ★事業創造・スタートアップ入門	原口唯 上條由紀子 (ゲスト講師招聘)	9/28・10/5・10/12 10/19・10/26 11/2・11/9・11/16 (水)	第3クォーター	水曜5・6時限 (16:10~19:20) ※最終回は5時限のみ (全15コマ)	文 教
(希望により学部生聴講可能)	大学院生博士前期課程学生対象	基礎プログラム科目 ●アイデア創出・デザイン思考演習	原口唯 上條由紀子 (ゲスト講師招聘)	第1クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教
		基礎プログラム科目 ●ビジネスプランニング演習	山口泰久	第2クォーター	6時限 (17:50~19:20) (全8コマ)	文 教
		基礎プログラム科目 ●アントレプレナー・ファイナンス論	山下淳司 上條由紀子 (ゲスト講師招聘)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教
		基礎プログラム科目 ●技術マーケティング・顧客開発論	土屋 有	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教
	大学院生博士後期課程学生対象	応用プログラム科目 ▲先端技術事業化論1 (AI/IOT/ブロックチェーン)	上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	第2クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教
		応用プログラム科目 ▲グローバルアントレプレナーシップ論 (使用言語:英語)	上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教
		応用プログラム科目 ▲イノベーション論(イノベーション・ 技術戦略・知財戦略・出島戦略)	松橋俊彦	第3クォーター	水曜6時限 (17:50~19:20) (全8コマ)	文 教
		実践プログラム科目 ◆技術マネジメント・組織論	原口唯 上條由紀子 (ゲスト講師招聘)	第3クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教
	(希望により大学院生聴講可能)	実践プログラム科目 ◆先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)	上條由紀子 原口唯 (ゲスト講師招聘)	第4クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	坂本1 (予定)

★学部生対象:学部生は履修登録により単位取得可能

●大学院博士前期課程学生及び社会人対象科目:大学院博士前期課程学生は履修登録により単位取得可能/社会人は履修証明プログラム申込により受講可能/大学院博士後期課程学生および学部生は希望により聴講可能

プログラム科目一覧および概要

科目概要

本授業では、アントレプレナーシップの基礎を学習します。変化が激しく不確実性の高い現代において、解決すべき課題を探索し、自立心・向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナーが必要とされています。本授業では、自分自身のキャリア構築につなげる視点を持ちながら、アントレプレナーに必要なマインドセット(アントレプレナーシップ)や必要なスキルについて学習します。アントレプレナーシップを発揮するためには、自分自身と対峙し「自分らしさ」を探索し、自己理解を深めた上で自らと社会との関係性に目を向け、社会に対してどのようなアクションができるか、アイデアを創出することが重要となります。本授業ではワークショップ形式で「自分らしさ」の探索とアクションへのつなげ方を学習します。さらに、ベンチャー、大企業、官公庁など実社会の様々な現場において、課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジされている実務家や起業家の方々の講演を通じて、実践的な取り組みとアントレプレナーシップの重要性について学習します。

本授業では、「問いの立て方」、「アイデアを創出する技術(創造技法)」、「ファンクショナル・アプローチ」及び「デザイン思考」を学習します。これらは、多面的な視野・視座・視点を持ちながら問題を発見し、それらを解決するアイデアを考案してイノベーション創出につなげるために必要な入門スキルです。本授業では「問いの立て方」として、いい問いとは何かを考えることを通じて、いい問いの立て方について学びます。そして、「アイデアを創出する技術」として問題発見、アイデア発想、アイデア発展の基礎的手法を学習します。次に、問題解決へ取り組む際、ファンクション(機能・効用・役割・意図・目的・狙い等)に置き換えてから解決する革新的技術である「ファンクショナル・アプローチ」を学びます。最後に、顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法である「デザイン思考」の基礎について学習します。なお、本授業では講義と演習(グループワーク)を組み合わせで実施します。

本授業では、イノベーション、即ち、社会に新しい価値を創造する担い手である「スタートアップ」と呼ばれる企業を立ち上げるために必要なスキル、知識、マインドセットについて学習します。具体的には「スタートアップとは何か?」「社会に新しい価値を提供するためのビジネス(事業)とは?」「スタートアップに必要なチームとは?」「ビジネス(事業)に必要な資金をどのように集めるのか?」「ビジネスモデルやビジネスプランとは?」「スタートアップと市場」などのテーマについて学びます。また、新しい事業を創造し、社会価値を生み出すことに挑戦されている起業家や経営者をお招きし、実際のビジネスについてご紹介頂き、スタートアップによるイノベーション創出の意義についてお話いただきます。

本授業では「アイデアを創出する技術」及び「デザイン思考」について演習形式にて学習します。特に、顧客視点・ユーザー視点をを用いた対話を重視する問題解決手法である「デザイン思考」に重点を置き、具体的なテーマを題材としてチームで演習に取り組み、実践的かつ実務で役立つ「デザイン思考」のアプローチやプロセスについて習得します。具体的には、チームにおいて発想したアイデアについて「セールシート」を作成し、策定したアイデアを寸劇(スキット)形式で発表していきます。本授業では、正解がない「前例のない取組み」において、具体的な解決策となるアイデアやコンセプトを、チームで創出可能となる「デザイン思考」のアプローチを実践的に学習するとともに、イノベーション活動の方法論やマインドセットを習得することを目標とします。

本授業では、起業や新規事業立上げの実践に必要なアントレプレナーシップ(企業家精神)及びビジネスプランニングの手法を学習します。具体的には、演習(ワークショップ)形式で、顧客課題の設定、課題解決方法を明確化し、特許・技術評価、市場調査などを行い、顧客のニーズに対応した新価値を創造し提供するビジネスプランの作成を学びます。その際、様々な事業化手法やツール(ビジネスモデルキャンパス、デザイン思考等)を学び、それらを実際に使用してチーム形式でビジネスプラン作成演習に取り組みます。

この授業は、起業や新規事業立上げに取り組む実践人材(アントレプレナー)が知っておくべき、基礎ファイナンス理論およびアントレプレナーにとってのベンチャーの資金繰りや調達方法、企業価値の評価方法について学習するとともに、リスク管理の観点からベンチャーにとって必要な契約・法律の基礎知識、ベンチャーにとって必要な知的財産に関する基礎知識について学習し、企業価値の最大化を実現するための知識と方策について総合的に修得することを目標とします。

本授業では、具体的な事例を用いながらアントレプレナーが顧客ニーズに応じた製品・サービスを開発し顧客に価値を提供するために、知っておくべきマーケティングの基礎知識及び手法について学習します。特に、技術のマーケティングについても理解を深めます。また、スタートアップやベンチャーが陥りやすい「顧客が欲しがらない、売れない製品・サービスを市場に出してしまう」失敗を回避するため、研究開発の初期段階から顧客を相手に仮説検証を繰り返し、実現可能なビジネスモデルを探索する「顧客開発モデル」について基礎的な手法を学習します。

本授業では、人工知能(AI)分野、IoT分野、DX分野、ブロックチェーン分野などの先端技術分野における技術の活用及び社会実装、当該分野において注目されている新規事業について、具体的な事例を通じて最新動向を学習します。具体的には、AI(人工知能)、IoT(Internet Of Things)分野、DX(デジタルトランスフォーメーション)分野、ブロックチェーン分野、メタバース分野など先端技術分野における国内外の事業化事例について、実際に当該分野で起業したり、企業内で新規事業立案に挑戦している起業家・実務家の方、支援者の方によるオムニバス形式の講演を通じて学習を進めます。

変化が激しく不確実性の高い現代において、解決すべき課題を探索し、自立心・向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナーが必要とされています。本授業では、博士後期課程修了後のキャリア構築につなげる視点を持ちながら、アントレプレナーに必要なマインドセット(アントレプレナーシップ:企業家精神)について学習するとともに、アントレプレナーシップとイノベーションとの関係、起業が社会に与えるインパクト、デザイン思考についても学習します。さらに、研究成果である技術等を活用して、起業により新事業創造を行って社会課題解決や社会価値創出につなげる手法やプロセスを習得します。加えて、アントレプレナーシップ(起業家精神)を持って、地域からグローバルな市場で勝ち抜くビジネスを興し、イノベーションを起こす事例について、実際の起業家の講演を通じて学習します(授業は原則として英語で実施します)。

本授業では、起業や新規事業立上げに取り組む実践人材(アントレプレナー)が知っておくべき、イノベーションや技術経営を行うために必要な知識(概念・考え方)を学習します。特に、研究開発の成果である技術シーズに基づいて、企業や新規事業立上げを行うに当たり、必要となるマネジメントの基礎知識(知的財産戦略、技術戦略、出島戦略など)やオープンイノベーション手法の学習に重点を置きます。また、大学の研究開発成果である技術シーズの事業化・商業化可能性について、市場・顧客視点から、具体的な技術シーズに基づき評価を行う「テクノロジーアセスメント」手法について、チーム演習を通じて学習していきます。本授業では、講義と演習(グループワーク)を組み合わせで実施します。

本授業では、研究開発成果である技術に基づき製品開発を行い、事業に結びつけて経済的な価値を生み出すため、経営資源である技術を戦略的に活用する、技術マネジメントの手法について学習します。また、研究開発成果である技術を事業化するために大学と産業界とが連携する手法(産学連携)についても学びます。さらに、起業や新規事業立上げにおいて、人材を集めチーム・組織を構築・運営していくことの重要性について学び、そのためのマネジメント手法について学習します。

本授業では、メディカル分野、ヘルスケア分野などの先端技術とデジタル分野の先端技術との融合及びその活用、社会実装、当該分野において注目されている新規事業について最新動向を学習します。具体的には、これらの先端技術融合分野における国内外の事業化事例について、実際に当該分野で起業したり新規事業立案に挑戦している起業家・実務家の方、支援者の方をお招きし、オムニバス方式のご講演を通じて学習を進めます。

▲大学院博士後期課程学生及び社会人対象科目:大学院博士後期課程学生は履修登録により単位取得可能/社会人は履修証明プログラム申込により受講可能/大学院博士前期課程学生及び学部生は希望により聴講可能
◆社会人対象科目:社会人は履修証明プログラム申込により受講可能/大学院生・学部生は希望により聴講可能

6.NFEC教育・人材育成プログラム教員

専任教員



教授・弁理士

上條 由紀子

担当科目

アントレプレナーシップ入門

アイデア創出・デザイン思考入門

先端技術事業化論1・2

グローバルアントレプレナーシップ論

「人新世」と呼ばれる現代において、気候変動、森林破壊、環境汚染のみならず、食料問題、宗教・文化による対立、国家間の紛争に至るまで、私たち地球は様々な問題に直面しています。さらに、この2年間に至っては「コロナ禍」により、全世界の人々の行動様式や考え方から企業の経営戦略や国の政策に至るまで大きな影響を受け、これまでの常識が通用しない、先行きが不透明な時代が到来しました。

そのような中、2020年4月にFFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)は、長崎大学において「アントレプレナーシップ(企業家精神)」を皆さんに習得していただく機会を提供するため「NFEC教育・人材育成プログラム」を開始しました。

皆さんにとって、「アントレプレナーシップ」という言葉は、耳慣れない言葉かもしれませんが、NFECでは「様々な問題、予期せぬ変化、不確実な状況に直面しても、それをチャンス(機会)と捉えて、失敗を恐れずに新価値の創造に向けて行動できるマインドセット」と解釈しています。

この2年間、NFEC科目の受講生、ラウンジNOVEでプロジェクト活動を積極的に進めてきた学生の皆さん、履修証明プログラムを受講された社会人履修生の皆さんは、明るく前向きに目標を定め、自分の夢や将来の選択枝を模索し、日々行動することでチャレンジし続けてこられました。皆さんの「アントレプレナーシップ」に溢れる行動に、むしろ私達が勇気とパワーを頂いた日々だったと思います。

「受講のための手引き」のページを開いた学生の皆さん、未来を見通すことが難しい今だからこそ、多くの資源と歴史・文化の宝庫である長崎の地で、様々な分野の知が集積する長崎大学から「社会への新しい価値創造」に挑戦してみませんか？

NFECでは、「アントレプレナーシップ」のマインドセット、社会への新しい価値創造の手段の1つであるビジネスの立ち上げ方、そのために必要となる知識やスキルを提供することにより、皆さんの学びを支援していきます。新年度の授業で、皆さまにお会いできる日を楽しみにしています。



准教授

株式会社YOUI 代表取締役

原口 唯

担当科目

事業創出・スタートアップ入門

アイデア創出・デザイン思考演習

技術マネジメント・組織論

私自身がアントレプレナーシップという概念に出会ったのは、大学3年生の頃でした。当時、建築学を専攻していたにもかかわらず、自分は建築・空間デザイナーとして生きていくのにほとほと向いていないと途方に暮れていたときに、目に入ってきたのが、食堂の掲示板に貼られていた「起業家セミナー授業運営メンバー募集」と書かれたポスターでした。デザインを専門とする大学に貼られるにはダサすぎるポスターのレイアウトに、「この人たちはよっぽどこの企画に自信があるんだろうなあ」と勘違いした私とそのメンバーになり、起業家を招いて講義をしていただく授業の運営に携わったことをきっかけに、私の人生は一変し、アントレプレナーシップと深く関わっていくようになります。きっと当時の私は、自分が起業をして社長になることも、ましてアントレプレナーシップセンターの教員になることも、全く想像もしていなかったことでしょう。

そんな私が、当時から今も思い続けていることは、アントレプレナーシップとは勇気のことだという事です。何が起こるかわからない状況のなかで意思決定をしていくときに頼れるものは、知識ではなく自分と世界を信じる心の強さです。だからたとえ起業をしなくても、ビジネスに携わらなくても、アントレプレナーシップは、誰の心にも必要なものだと考えています。

NFECでは、多くの起業家や事業家のお言葉や、事業創造にまつわる様々なフレームワークのなかから、この世でいかに意思決定し、合意形成をしていくかについての心構えと手法を学んでいきます。この術は、私たちが生き続けるうえでいついかなる時にも必要な技術です。ぜひ一緒に学び、よりよい社会をつくっていきましょう。

非常勤講師



国立大学法人宮崎大学
地域資源創成学部講師

土屋 有

担当科目

技術マーケティング・
顧客開発論

大事なのは「腹落ち（ハラオチ）」です。自らのビジョンと顧客・市場と向き合い「商品・サービス」を開発し、選ばれ、リターンを獲得する。相手、自分、ステークホルダーに理解・納得・共感され支援される手段として、本授業を通じて理論と実践知をバランス良く獲得してください。「起業したい方のための講義か？」答えはYESであり、NOです。究極の商品・サービスはあなた自身です。皆さんは既に「ご自身の人生の経営者」として起業しているといえます。「マーケティング」は売り込みではなく選ばれるための理論です。自分の可能性を自らコントロールする手法を手に入れてください。研究シーズはもちろん、好きなこと、得意なこと、夢中になる力を「資源」とし、「ご自身で創る・手に入れる未来」にワクワクしたい方は受講いただきたい。起業家・事業家の方も、ご自身の具体的な課題とともに受講ください。



国立研究開発法人情報通信研究機構
脳情報通信融合研究センター企画室
マネージャー

松橋 俊彦

担当科目

イノベーション論(イノベーション・
技術戦略・知財戦略・出島戦略)

「イノベーション論」では、大学保有技術を基に、技術商業化の評価を行うツールである「テクノロジーアセスメント」を実践します。調査会社データを用いたセカンダリーリサーチではなく、想定顧客に直接インタビューするプライマリーリサーチは、技術商業化にとって重要な手法です。本授業では、チーム形式で「テクノロジーアセスメント」に取り組んでもらい、研究成果の商業化プロセスの全体像や手法を学習します。さらに、アクティブラーニングによる実践スキルやチームマネジメントも学びます。本授業は、米国ボストン大学の実践プログラムがベースであり、私自身が開講初年度に現地受講しましたので、エキサイティングな授業の様子を皆さんにお伝えしていきます。技術商業化プロセスに関心ある学生だけでなく、研究者、新規事業担当者、起業家、技術移転担当者などの社会人の皆さんの受講もお待ちしております。



株式会社
FFGベンチャービジネスパートナーズ
副社長

山口 泰久

担当科目

ビジネスプランニング演習
(アントレプレナーシップ応用)

「ビジネスプランニング演習」では、起業や新規事業立上げを真剣に考えている皆さんの参加を歓迎致します。本授業では、起業や新規事業立上げの実践に必要なアントレプレナーシップ及びビジネスモデル開発・ビジネスプランニングの手法を、PBL方式で実践的にチーム学習します。重要なことは、皆さんに創業体験をしてもらうことです。皆さんが重要で社会ニーズがあると思う課題について、解決方法を考えついたら、創業を考えるべきです。「実際にそのアイデアで事業化できるか?」「ビジネスモデル開発をどうするのか?」「資金調達のためのビジネスプランをどう作成するのか?」といったテーマで、ビジネスに直結する考え方や手法を会得することが本授業の目標です。本授業で得た知識や経験は、創業時のみならず、企業での新規事業創出においても大変に役立ちます。皆さん、授業で是非お会いしましょう。



株式会社十八親和銀行
主任調査役

山下 淳司

担当科目

アントレプレナー・ファイナンス論
(経営管理特論)

NFECでは、アントレプレナーシップを身に付けるための様々な講義を展開していますが、私の担当する「アントレプレナー・ファイナンス論」では、起業やプロジェクト組成における様々な意思決定の際に必要な「資金」をいかに獲得するかについて学ぶことができます。ファイナンスとは「企業の価値を最大化するために行う活動」と言えますが、これはすべての業務に結びつく概念です。ファイナンスはビジネスを長期的に考える視点を提供してくれることから、答えの見えない不確実な時代を生きる皆さんにとって必要不可欠なものだと考えます。長崎大学の学生そして研究者の皆さん、履修証明プログラムの履修をお考えの社会人の皆さん、是非「FFGアントレプレナーシップセンター」において、先進的でイノベティブな刺激溢れるアントレプレナーシップ教育や研究に触れてみませんか?

7.NFEC教育・人材育成プログラム

ゲスト講師陣(1) (五十音順)



アイデアブラント 代表
石井 力重氏 [2020・2021年度]
担当科目/アイデア創出・デザイン思考入門



NOVIGO Pharma株式会社 代表取締役
石濱 航平氏 [2021年度]
担当科目/先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



株式会社GameWith 取締役
伊藤 修次郎氏 [2021年度]
担当科目/技術マネジメント・組織論



慶應義塾大学 特任教授
岩宮 孝紘氏 [2020年度]
担当科目/先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



日本環境設計株式会社 取締役会長
岩元 美智彦氏 [2020・2021年度]
担当科目/キャリア入門、技術マネジメント・組織論



Blue Empathy 代表プランナー
大塚 智子氏 [2020・2021年度]
担当科目/アイデア創出・デザイン思考入門



株式会社 エムズコミュニケイト 代表取締役
岡田 祐子氏 [2021年度]
担当科目/先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)



筑波大学国際産学連携本部
准教授
尾崎 典明氏 [2020・2021年度]
担当科目/イノベーション論、技術マネジメント・組織論



Co-founder of Cryptoeconomics Lab
落合 渉悟氏 [2020年度]
担当科目/先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)



Craif株式会社 CEO
小野瀬 隆一氏 [2021年度]
担当科目/先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



株式会社Cryptoeconomics Lab
代表取締役社長
片岡 拓氏 [2020年度]
担当科目/先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)



アイリス株式会社共同創業 取締役副社長CS
加藤 浩晃氏 [2020年度]
担当科目/先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



株式会社SEE THE SUN 代表取締役
金丸 美樹氏 [2021年度]
担当科目/事業創造・スタートアップ入門



国際協力機構 九州センター(JICA九州)
企業連携課 兼 市民参加協力課 専任理事
上島 篤志氏 [2021年度]
担当科目/技術マネジメント・組織論



株式会社ninpath 代表取締役CEO
神田 大輔氏 [2021年度]
担当科目/先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



たべものCo./いきものCo. 代表
菊池 紳氏 [2020・2021年度]
担当科目/アントレプレナーシップ入門
先端技術事業化論1(AI/IOT/ブロックチェーン)
技術マネジメント・組織論



株式会社iNTO(イントゥ) 代表取締役
小松崎 友子氏 [2020・2021年度]

担当科目/アントレプレナーシップ入門



はつな知財事務所 所長弁理士
五味 和泰氏 [2021年度]

担当科目/事業創造・スタートアップ入門



株式会社AI Samurai 代表取締役社長 CEO
白坂 一氏 [2020年度]

担当科目/先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)



株式会社Kabuk Style 代表取締役
砂田 憲治氏 [2021年度]

担当科目/アントレプレナーシップ入門



株式会社スマートラウンド
代表取締役社長
砂川 大氏 [2021年度]

担当科目/先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)



国立大学法人東京工業大学環境・社会理工学院
准教授
仙石 慎太郎氏 [2020年度]

担当科目/先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



金沢工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科 教授
高橋 真木子氏 [2020年度]

担当科目/技術マネジメント・組織論



株式会社イノカ CEO
高倉 葉太氏 [2021年度]

担当科目/アントレプレナーシップ入門



ドコモ・ヘルスケア株式会社 代表取締役
竹林 一氏 [2020・2021年度]

担当科目/アントレプレナーシップ入門
事業創造・スタートアップ入門



株式会社ユニコンファーム CEO
田所 雅之氏 [2020年度]

担当科目/アントレプレナーシップ入門



株式会社KLLeon 日本代表
(ジャパカンントリーマネージャー)
崔 耿美氏 [2021年度]

担当科目/先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)



株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ
シニアマネージャー
長 秀俊氏 [2020・2021年度]

担当科目/アントレプレナー・ファイナンス論



サグリ株式会社 代表取締役
坪井 俊輔氏 [2021年度]

担当科目/アントレプレナーシップ入門



MamaLeaf株式会社 代表取締役
豊福 鮎美氏 [2021年度]

担当科目/技術マネジメント・組織論



株式会社Ringfish 代表取締役
中澤 雄一郎氏 [2020・2021年度]

担当科目/アイデア創出・デザイン思考演習



株式会社NTTe-Sports 取締役
中島 賢一氏 [2020年度]

担当科目/先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)

※2022年度のゲスト講師は変更となる可能性があります。

7.NFEC教育・人材育成プログラム

ゲスト講師陣(2) (五十音順)



株式会社カケハシ 代表取締役社長

中尾 豊 氏 [2020年度]

担当科目/先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



株式会社イグアス CEO

中村 あきら 氏 [2020年度]

担当科目/技術マネジメント・組織論



アンター株式会社 代表取締役

中山 俊 氏 [2021年度]

担当科目/先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



NPO法人ミラツク・株式会社エッセンス
代表理事・代表取締役

西村 勇也 氏 [2021年度]

担当科目/アントレプレナーシップ入門



特定非営利活動法人インビジブル
理事長

林 暁甫 氏 [2020年度]

担当科目/アントレプレナーシップ入門



株式会社セルージュン 副社長 兼 取締役COO

林田 丞児 氏 [2021年度]

担当科目/先端技術事業化論2 (デジタル×メディカル/ヘルスケア)
Social Entrepreneurship 社会企業論
(熱帯医学・グローバルヘルス研究科科目)



株式会社坪田ラボ CSO
慶應義塾大学医学部特任講師

早野 元詞 氏 [2021年度]

担当科目/先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



株式会社YOUI 代表取締役

原口 唯 氏 [2020・2021年度]

担当科目/アントレプレナーシップ入門



株式会社LTU 代表取締役社長

原田 岳 氏 [2021年度]

担当科目/アントレプレナー・ファイナンス論



早稲田大学ビジネススクール 准教授

樋原 伸彦 氏 [2020年度]

担当科目/アントレプレナー・ファイナンス論



一般財団法人SFCフォーラム 事務局長

廣川 克也 氏 [2020・2021年度]

担当科目/技術マネジメント・組織論



東北大学 経済学研究科 教授

福嶋 路 氏 [2020年度]

担当科目/技術マネジメント・組織論



プレモパートナー株式会社 取締役CSO

前田 祐二郎 氏 [2020・2021年度]

担当科目/先端技術事業化セミナー・ワークショップ
KIEPS FDプログラム



早稲田大学ビジネススクール 准教授

牧 兼充 氏 [2020年度]

担当科目/Social Entrepreneurship 社会企業論
(熱帯医学・グローバルヘルス研究科科目)



森・濱田松本法律事務所
パートナー弁護士

増田 雅史 氏 [2021年度]

担当科目/KIEPS FDプログラム



株式会社レボーン 代表取締役

松岡 広明 氏 [2020・2021年度]

担当科目/先端技術事業化論1(AI/IOT/ブロックチェーン)
アントレプレナーシップ入門
アントレプレナー・ファイナンス論



合同会社SARR 代表執行社員／医学博士

松田 一敬 氏 [2020・2021年度]

担当科目／先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



長崎県 企画部 政策監

三上 健治 氏 [2020・2021年度]

担当科目／アントレプレナーシップ入門
先端技術事業化論1(AI/IOT/ブロックチェーン)



オーシャンソリューションテクノロジー株式会社
代表取締役

水上 陽介 氏 [2021年度]

担当科目／先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)



NTTアドバンステクノロジ株式会社
マーケティング部門部門長

三宅 泰世 氏 [2020・2021年度]

担当科目／アイデア創出・デザイン思考入門



株式会社 和える 代表取締役

矢島 里佳 氏 [2021年度]

担当科目／KIEPS FDプログラム



グレートジャーニー合同会社 代表

安川 新一郎 氏 [2021年度]

担当科目／アントレプレナーシップ入門



Medii株式会社 代表取締役 医師／CEO

山田 祐揮 氏 [2020年度]

担当科目／先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



KAICO株式会社 代表取締役社長

大和 建太 氏 [2020年度]

担当科目／先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



ビジネスモデルイノベーション協会 代表理事

山本 伸 氏 [2020・2021年度]

担当科目／Social Entrepreneurship 社会企業論
(熱帯医学・グローバルヘルス研究科科目)
KIEPS FDプログラム



中村合同特許法律事務所 ストックマーク株式会社
株式会社オンリーストーリー
弁護士・弁理士・社外監査役

山本 飛翔 氏 [2021年度]

担当科目／アントレプレナー・ファイナンス論



GVA TECH株式会社 COO

山本 俊 氏 [2021年度]

担当科目／先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)



株式会社アDMIN 代表取締役

山口 知宏 氏 [2021年度]

担当科目／アントレプレナーシップ入門



株式会社エクサウィザーズ グループリーダー

結城 崇 氏 [2021年度]

担当科目／先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)



株式会社ファンクショナル・アプローチ研究所
代表取締役

横田 尚哉 氏 [2020年度]

担当科目／アイデア創出・デザイン思考入門

※2022年度のゲスト講師は変更となる可能性があります。

8. NFEC教育プログラムを受講するには？

全学部生・
院生向け

◆学部生の場合(全学部1～4年生対象)

履修登録して単位修得が可能な科目は、入門プログラム科目「★アントレプレナーシップ入門(第1Q)」 「★アイデア創出・デザイン思考入門(第2Q)」及び「★事業創造・スタートアップ入門(第3Q)」の3科目です。この3科目は教養教育・自由選択科目に該当します。履修を希望する学部生は所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録してください。また、学部生が大学院生対象科目(基礎・応用プログラム科目)、社会人対象科目(実践プログラム科目)の聴講を希望する場合は、NFECのWEBサイトまたはメールにて直接NFECにお問い合わせの上、聴講申込をさせていただきます。

◆工学研究科博士前期課程総合工学専攻の大学院生の場合

履修登録して単位修得が可能な科目は、基礎プログラム科目「●アイデア創出・デザイン思考演習(第1Q)」 「●ビジネスプランニング演習(アントレプレナーシップ応用)(第2Q)」 「●経営管理特論(アントレプレナー・ファイナンス論)(夏期集中)」 「●技術マーケティング・顧客開発論(夏期集中)」の4科目です。これら4科目は工学研究科の「技術者・研究者実践科目」に該当します。履修を希望する大学院生は、所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録を必ず行ってください。

◆経済学研究科博士前期課程経営学修士(MBA)コースの大学院生の場合

履修登録して単位取得が可能な科目は、基礎プログラム科目「●アイデア創出・デザイン思考演習(第1Q)」 「●ビジネスプランニング演習(アントレプレナーシップ応用)(第2Q)」 「●技術マーケティング・顧客開発論(夏期集中)」の3科目です。これら3科目について履修を希望する大学院生は、所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録を必ず行ってください。

◆工学研究科博士後期課程の大学院生または博士課程(5年一貫制)3～5年の大学院生の場合

履修登録して単位修得が可能な科目は、応用プログラム科目「▲先端技術事業化論1(AI/IOT/ブロックチェーン)(第2Q)」 「▲グローバルアントレプレナーシップ論(夏期集中)」 「▲イノベーション論(イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略)(第3Q)」の3科目です。これら3科目は工学研究科博士後期課程の「総合科目における選択科目」に該当し、博士課程(5年一貫制)の「研究者養成実践科目における選択科目」に該当します。履修を希望する大学院生は、所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録を必ず行ってください。

◆上記以外の研究科大学院生の場合

上記以外の研究科に所属する大学院生も、NFEC教育プログラムの大学院生対象科目を受講することが可能です。博士前期課程の大学院生は、基礎プログラム科目「●アイデア創出・デザイン思考演習(第1Q)」 「●ビジネスプランニング演習(アントレプレナーシップ応用)(第2Q)」 「●経営管理特論(アントレプレナー・ファイナンス論)(夏期集中)」 「●技術マーケティング・顧客開発論(夏期集中)」の4科目、博士後期課程の大学院生は、応用プログラム科目「▲先端技術事業化論1(AI/IOT/ブロックチェーン)(第2Q)」 「▲グローバルアントレプレナーシップ論(夏期集中)」 「▲イノベーション論(イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略)(第3Q)」の3科目です。これらの科目について履修を希望する大学院生は、指導教員の了解及び授業担当教員(NFEC教員)の内諾を得た上で、「他研究科授業科目履修願」を各期の定められた期日までに、所属する研究科の事務部学務担当に提出してください。所属する研究科と工学研究科との協議後、所属する研究科の教務委員会で認められると履修登録が可能になります。不明な点がある場合はNFECのWEBサイトまたはメールにて直接NFECにお問い合わせください。

◆学部生・大学院生が社会人対象科目の受講を希望する場合

学部生・大学院生が社会人対象の実践プログラム科目「◆技術マネジメント・組織論(第3Q)」 「◆先端技術事業化論2(デジタル×メディカル/ヘルスケア)(第4Q)」の受講を希望する場合は、NFECのWEBサイトまたはメールにて直接NFECにお問い合わせの上、聴講申込をさせていただきます。

NFEC教育プログラム科目の受講方法、履修登録方法について不明な点がある場合や教員面談希望の場合は、NFECのWEBサイト、メールまた

◆NFECのWEBサイト

<http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp>



◆NFECのメールアドレス

ftgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp



9. 目的別のおすすめ科目・ おすすめ履修モデルは？



アントレプレナーシップとは何かを学んで、自分のキャリアに活かしてみたい
失敗を恐れず自分の夢や目標に向かって
チャレンジできるマインドを身につけたい



★①アントレプレナーシップ入門

問いの立て方、新しいアイデアの
創り方、アイデアを具体化させるス
キルを身に付けたい



★②アイデア創出・デザイン思考入門
●④アイデア創出・デザイン思考演習

新しい事業(ビジネス)の起こし方
を知りたい、スタートアップや起業
について関心がある、ビジネスプ
ランの作り方を知りたい



★③事業創造・スタートアップ入門
●⑤ビジネスプランニング演習

グローバルに活躍するアントレプレ
ナーの事例を学び、自分のキャリア
に活かしたい、海外のスタートアップ
やベンチャーの最新動向を知りたい



▲⑨グローバルアントレプレナー
シップ論

起業や新規事業立ち上げに必要な
ファイナンス理論を学びたい、資金調
達の方法を知りたい、ベンチャーに必
要な法務・知的財産の基礎を学びたい



★③事業創造・スタートアップ入門
●⑦技術マーケティング・顧客開発論

研究開発成果である技術シーズの事
業化をする実践的な方法を知りたい
技術シーズの事業化のためのビジネスプランを作りたい



●⑤ビジネスプランニング演習
▲⑩イノベーション論 (イノベーション・
技術戦略・知財戦略・出島戦略)

スタートアップやベンチャーにとって大切な
チーム作りや組織体制について学びたい
技術を戦略的に活かして価値を生み出す
手法を知りたい
産学連携について学びたい



◆⑪技術マネジメント・組織論

マーケティングについて学びたい
顧客開発モデルについて理解したい



★③事業創造・スタートアップ入門
●⑥アントレプレナー・ファイナンス論 (経営管理特論)

最先端の技術分野における事業化
やスタートアップの事例を知りたい



▲⑧先端技術事業化論1
(AI/IOT/ブロックチェーン)
◆⑫先端技術事業化論2
(デジタル×メディカル/ヘルスケア)

10. 履修証明プログラムを受講するには？

社会人向け

◆社会人向け履修証明プログラム「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」を2022年6月より開講

FFGアントレプレナーシップセンターでは、アントレプレナーシップやベンチャー創出に関心を持つ社会人の方を対象として、2020年度から開始した社会人向け履修証明プログラム「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」を2022年度も実施いたします。

本プログラムは、社会人受講生の皆様が、アントレプレナーシップ（企業家精神）に関連した知識、スキル及びマインドセットを修得し、多面的な視野、視座、視点を持って社会課題を発見し、それらの課題を解決する新事業アイデアを創出して、地域に根差した新価値創造およびイノベーション創出を行い、地域経済の発展に貢献できるアントレプレナーを目指すための人材育成プログラムとなっています。

◆社会人向け履修証明プログラムとは

「履修証明プログラム」とは、主に社会人を対象として、人材育成の目的に応じた講習を、体系的に編成した学校教育法に基づく教育プログラムをいいます。本プログラムを受講し一定の要件を満たした受講者には、長崎大学から「履修証明書」が交付されます。

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の修了要件

「履修証明書」の交付を受けるためには、以下の要件を満たす必要があります。

- ①基礎プログラム4科目の中から、少なくとも3科目を履修
- ②応用プログラム3科目の中から、少なくとも1科目を履修
- ③実践プログラム2科目の中から、少なくとも1科目を履修

合計で5科目以上を履修し、各科目の修了要件を満たすことが要件となります。

なお、本プログラムは、9科目全ての履修を目指したプログラム構成となっておりますが、希望する科目を選択して履修することが可能です。

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の開講期間

本プログラムの開講期間は、2022年6月～2022年12月になります。詳細スケジュールについては本冊子の7-10ページのプログラムロードマップ及び科目一覧表を参照してください。なお、最新情報については、NFECのWEBサイトに掲載いたします。

<NFEC:WEBサイト> <http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/>

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の授業概要

- ①本プログラムは、履修証明プログラムを構成する9つの科目（基礎科目4科目、応用科目3科目、実践科目2科目、計9科目）で構成されています。詳細については、9-10ページの科目一覧およびNFECのWEBサイトをご参照ください。
- ②授業は、主として平日夜間または週末に行われますが、一部、平日昼間（2時限：10時30分～5時限：16時40分）、平日夕方（5時限：16時10分～19時20分）（6時限：17時50分～19時20分）の時間帯に授業を実施する科目もありますのでご注意ください。
- ③開催場所は、原則として文教キャンパスですが、坂本キャンパスIで開催される場合もありますのでご注意ください。
- ④様々な理由で来校が難しい履修者に対応するため、Zoom等を活用したハイフレックス形式（対面授業とオンライン配信授業の併用）の授業を実施する科目もあります。授業の様子は原則として録画を行い、アーカイブを後日視聴できるように対応します。また、コロナ禍の状況に対応して、オンライン配信授業のみを実施する場合もありますので、ご注意ください。

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の募集要項

(1) 募集人数 **30名**

(2) 出願資格

- ① 大学を卒業した方、大学卒業レベルの資格を有している方
- ② 短大、高専卒業レベルの資格を有し、かつ社会人経験を2年以上有した方

(3) 受講料

受講料は一律**12万円**を納めていただきます。

(4) 申込手続

① 応募書類

FFGアントレプレナーシップセンターWEBサイトから「受講申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、受付期間までに、電子メールまたは郵送にて提出してください。

② 提出方法

〈Eメールの場合〉 ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

件名を「〈社会人向け〉履修証明プログラム」とし、必要書類を添付して送信してください。

〈郵送の場合〉〒852-8521 長崎市文教町1-14 工学部2号館2階オープンラボ3

FFGアントレプレナーシップセンター宛

封筒の表に「〈社会人向け〉履修証明プログラム申込」と朱書きの上、必要書類を送付して下さい。

③ 受付期間

2022年3月23日～2022年5月13日(必着)

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の選考結果

応募書類に基づき選考を行い、受講者の決定を行います。結果については、可否に関わらず、受講申込書に記入いただいているメールアドレスへご連絡します。@nagasaki-u.ac.jpのメールが必ず受信できるよう設定しておいてください。その他、受講に必要な手続については別途メールにて連絡いたします。

◆オリエンテーションの開催

受講者全員を対象に事前のオリエンテーション(説明会)を行います。受講の準備やLACS(長崎大学の学習支援システム)の利用についてなど、受講に際しての説明をします。

5月下旬開催を予定していますが、コロナ禍の状況に応じて、リモート形式(Zoom)によるオリエンテーションになる場合があります。詳細は履修手続の際にお知らせします。

◆受講キャンセルについて

受講キャンセルは可能ですが、2022年6月の受講期間開始後には入金いただいた費用のご返金はいたしません。キャンセルされる場合は受講開始前にご連絡下さいますようお願い致します。

◆その他

「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の履修に関してご質問、ご相談がある方は、NFECのWEBサイト、メールまたは電話にて、直接NFECにお問い合わせください。



◆NFECのWEBサイト

<http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp>



◆NFECのメールアドレス

ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp



11. 2021年度 受講生の声



STUDENT VOICE 01

長崎大学 経済学部 1年
松本 日菜

私がこの講義を履修した時は、アントレプレナーシップとは何かも知らなかったし、将来起業をしようと考えていたわけでもありませんでした。ただ、将来的には社会人として働くため、大企業やベンチャーなど実社会の様々な現場で活躍されている方々のお話を聞くことは貴重な経験だと思い、この講義を履修しました。毎回の講義でゲスト講師の方々が語られる今までの困難や何か成し遂げられたお話は、私のチャレンジ精神を掻き立ててくれました。「失敗を恐れずチャレンジする」という聞き慣れた言葉も、講師の方々の情熱的なストーリーを聞き、改めて重要な事として自分に落とし込むことができました。私は今、この講義をきっかけにアントレプレナーシップ実践プログラムに参加し、スイーツの商品開発によって地域を盛り上げるプロジェクトに挑戦しています。この挑戦に踏み出す勇気をくれたのがこの講義でした。



STUDENT VOICE 02

長崎大学 情報データ科学部 1年
竹嶋 秋斗

入学式の日、私は「NFEC受講のための手引き2021」を手に入れました。中を見てみると、「アントレプレナーシップ」の文字があります。この文字を見た瞬間、私はNFECの学部生向けの3つの受講を決めました。その理由は「アントレプレナーシップ」という言葉の辞書的な意味を以前から知っており、機会があればぜひ勉強してみたいと思っていたからです。いざ受講してみると「アントレプレナーシップ」の意味は辞書的なものから、実践的なものになり、また様々な人とお話しすることができ、もっと「面白い」ことをしたいという気持ちで、どんどん湧き出てきました。NFECの講義はゲスト講師・教員・受講生の3者すべてから、様々な影響をもらえる空間です。皆さんも受講してみませんか？



STUDENT VOICE 03

長崎大学 水産学部 3年
松浦 栄人

NFEC科目は、「毎回講師が違う!？」少し変わった講義を受けてみたい方におすすめです。私は、「アントレプレナーシップ入門」、「アイデア創出・デザイン思考入門」、「事業創造・スタートアップ入門」の3科目を受講しました。多種多様な分野や背景で起業をしてきたゲスト講師の方々からは、起業家の精神とともに社会課題解決に向けた熱い想いを受け取ることができ、皆さんの今後の人生に大きな出会いをもたらしてくれると思います。これから社会人になっていく学生にとって、アントレプレナーシップの知識や考え方、スキルを学べる機会はとても貴重なことであると思います。また、講義を通じて出会った仲間たちと「ラウンジNOVE」を利用して学びを深めていくこともでき、講義の枠にとらわれずに学ぶことができることも魅力の1つです。少しでも気になった方はぜひ受講を検討してみてください。



STUDENT VOICE 04

長崎大学 教育学部 3年
田崎 千春

私がこの講義を受講した理由は、やりたいことはあるけれど、具体的な実現方法がわからないということ、多種多様な人や話に触れることで、自分の視野を広げたいということの2つです。講義を受けて、事業が継続・成長するためのポイントや、アイデアプランを発想してから実行するまでの流れを学ぶことができました。また、起業家の話を直に聞かせていただき、「とにかくやってみる」という実行力と「失敗しないのが大失敗」というマインドが大切だとわかり、今では挑戦することを楽めています。毎回の授業で得られるものが多くて、「今日も成長できた」という気持ちと楽しさの余韻で頭が満たされていました。何かやってみたい、刺激を得たい、という方にはもってこいの講座だと思います。



STUDENT VOICE 05

長崎大学大学院 工学研究科
博士前期課程 総合工学専攻1年

橋本 佳樹

この文章は就活を控える全ての学生に向けて書こうと思います。「起業」と聞くと一見就活とは正反対のように思えますが、僕は起業と就活は「お隣さん」だと思っています。NFECの講義を受けてそう思えるようになりました。私が受講した「イノベーション論」では、松橋俊彦先生による技術シーズを用いた事業化、知的財産、市場等に関する座学と、それを応用したグループワークを行いました。メンバーは、僕以外は社会人の方でしたが、自営業や土木関係など異なる背景を持つ方々と切磋琢磨しながらワークに臨みました。その中で社会人メンバーの行動力や知識欲に圧倒されました。知人や有識者にインタビューを申し込む姿に感銘を受けました。そして、1つの技術シーズもあらゆる角度から見ると、こんなにも事業アイデアが出るのかと驚きました。起業に限らず、物事を多角的に見る力は今後必要になってくるでしょう。就活でも自分自身や志望企業を多くの目をもって客観的に知る必要があると思います。講義で学ぶ多角的視点は、就活を行うときに絶対に生きてくるはずです。「起業」や「スタートアップで働くこと」もキャリアの選択肢として考え、皆さんの新たな挑戦を応援しています。



STUDENT VOICE 06

長崎大学大学院 工学研究科
博士前期課程 総合工学専攻1年

徳久 泰河

私は、「アントレプレナーシップ応用（ビジネスプランニング）」「イノベーション論」などの授業を受講し、「アントレプレナーシップ実践プログラム」でドローンを用いた狩猟についての事業を計画し、進めることができました。授業では、学生の割合が少なく社会人の方々の中で、「事業」を立ち上げていくための方法を実践しながら学ぶことができました。もちろん大変なことも多く、おそらく迷惑もかけたと思いますが、ただ受け身で授業を受けるだけでは体験できないことがあり、このような機会をいただけたことに感謝しています。工学部として、「ザ・研究者」という生き方は王道で必要なことだと思いますが、他方で、これからの時代は「技術の力を活用して自分がやりたいと思ったことを自分でやっていく」という人材も必要になって来るのではないかと考えています。



STUDENT VOICE 07

社会人履修証明プログラム履修生
株式会社オリエンタイエヌジー

陣内 勝久

「日常」とは、つねひごろ毎日繰り返されること…である。実は、ステレオタイプの毎日にこそ隠れた課題があるので（講義の中で私が思わず膝を打った言葉）。組織人としての私には、「起業家精神」の考え方は馴染まないだろうと思っていました。しかし、本プログラムは、起業だけに特化しているわけではなく、事業の全体像について体系的に学ぶことができます。私は本プログラムを通し、アンコンシャス・バイアスについての気づきがあり、組織における自分のあるべき姿を整理することができたと感じています。アントレプレナーシップの学習に加えて、久しぶりに学生という立場を楽しむことができる、刺激的でノスタルジックな1年間をぜひ体験してみてください。



STUDENT VOICE 08

社会人履修証明プログラム履修生
王蔵株式会社

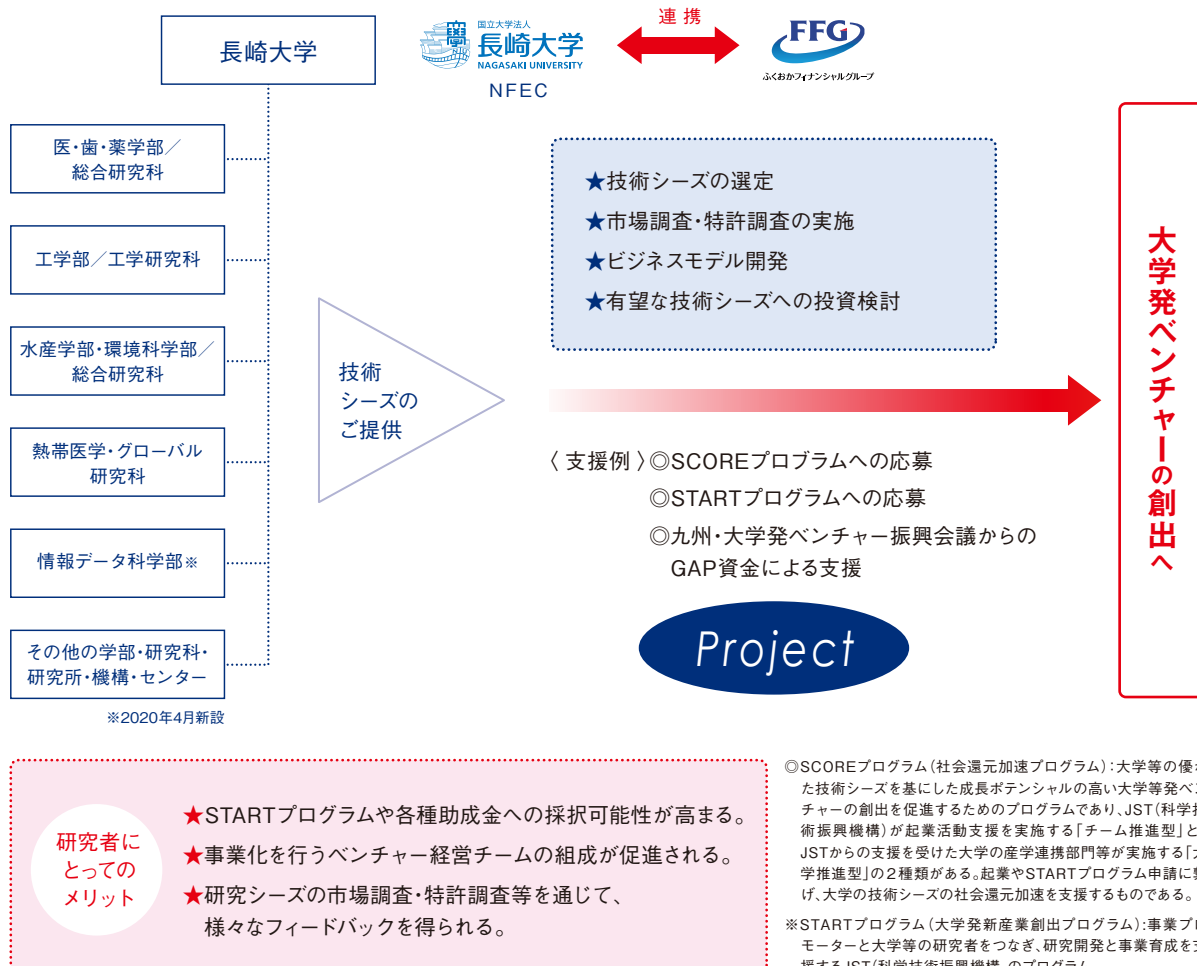
中尾 浩二

私は51歳の会社員です。ふと募集記事に目が留まり、気が付けば応募していました。将来のキャリアに対する不安がそうさせたのだと思います。振り返れば濃密なプログラムでした。まず講師陣が素晴らしい。こんなに多くのスタートアップ創業者（成功者）の話を直接聞ける機会もそうないと思いますし、リスクを恐れずに情熱的にチャレンジした彼らにどんなに嫉妬し刺激を受けたことか。またバックグラウンドが違う社会人や学生とのグループ演習も難しかったですが、毎回収穫がある体験でした。何より授業外でもオンラインで盛り上がりました。おかげさまで30年ぶりに学生気分を謳歌し、前に進む気持ちを新たにすることが出来ました。今後は、本プログラムで学んだ知識と経験を活かして、地元地域と社会の為に貢献しようと考えています。

12. FFGインキュベーションプログラムとは？

FFG Incubation Program

FFGインキュベーションプログラム



University-based Ventures

大学発ベンチャー創出の意義

- 大学の研究開発成果たる技術シーズに基づくベンチャー創出により、地域に新産業を興す基盤を作り、地域課題を解決して地域経済の発展に寄与。
- 大学において経営人材・アントレプレナー人材を育成することにより、ベンチャーの経営チーム構築に貢献。
- 大学からの技術シーズ・知的財産・技術的助言の提供により、大学発ベンチャーの成長を促進。
- 大学における研究開発資金の獲得およびベンチャーの成功による大学への資金還元。
- 地域全体のイノベーションエコシステムの醸成に貢献。

13.アントレプレナーシップ 実践プログラムとは？

◆「アントレプレナーシップ実践プログラム」の概要

アントレプレナー育成事業「アントレプレナーシップ実践プログラム」とは、長崎大学キャリアセンターとFFGアントレプレナーシップセンターが共催しているプログラムであり、学生自身が企画・立案したプロジェクトへの取り組みを通じて自分と向き合い、「社会における自分のあり方」を考え、「困難に対峙する力」や「新価値創造に必要な能力」を養い、様々な体験を通じて「起業家精神（アントレプレナーシップ）」を発揮することを目的として実施するプログラムです。長崎大学が標榜する「実践力を涵養する」という教育目標に不可欠な事業といえます。

◆「アントレプレナーシップ実践プログラム」の内容

本プログラムでは、FFGアントレプレナーシップセンター（NFEC）の「アントレプレナーシップ教育プログラム」やキャリアセンターの「キャリア教育科目」で学んだ内容を活かし、学部生・大学院生から構成されたチーム形式によりプロジェクトを企画・立案いただきます。そして、本プログラムへの応募および審査委員による審査を経て、採択を受けたプロジェクトチームに活動推進費が助成され、外部メンターや教員による支援を受けることができます。

◆2021年度「アントレプレナーシップ実践プログラム」の活動報告

2021年度は、長崎大学の学部生、院生により構成される15チームが本プロジェクトに採択され、2021年7月～2022年2月まで活動を推進しました。採択プロジェクトチームは、NFEC教員やメンターのアドバイスを受けながら、活動推進費を有効に活用し、プロジェクトを実施しました。11月の中間発表会ではプロジェクトの進捗を各チームが発表し、外部メンターや教員からアドバイスを受けるとともに、チームメンバー同士の交流を深めて意見交換を行いました。また、最終発表会では年間の活動成果を報告し、審査委員の最終審査を経て、最優秀賞1件、優秀賞1件、奨励賞3件のチームが表彰されました。最優秀賞チームは学長賞も同時に受賞しました。

◆2022年度「アントレプレナーシップ実践プログラム」の公募

2022年度「アントレプレナーシップ実践プログラム」の公募スケジュールおよび応募方法等についてはNFECのWEBサイトをご覧いただくか、NFEC事務室に直接お問合せください。

参加者の声

長崎大学水産学部 3年
山羽香穂

2021年度アントレプレナーシップ
実践プログラム奨励賞

長崎学生 ビジネスプランコンテスト
2021 グランプリ受賞



私は2021年度「アントレプレナーシップ実践プログラム」に参加しました。正直に言うと、活動支援費として助成がある！というお話を伺ったことが参加のきっかけでした。しかし、実際にこのプログラムに参加して最もよかったことは、沢山のチームとそのメンバーと関わることができた点です。多様な15チームの活動の様子を知ることにより見分を広げることができ、またチーム同士で助け合いながら切磋琢磨できたと感じています。本プログラムには、私のように、既にプロジェクトを開始していたチームも参加でき、本プログラムへの参加をきっかけにチームを設立することもできます。また、個人が途中から既存のチームに参加することも可能ですので、迷っている方は、まずは本プログラムに飛び込んでみるのも面白いと、私は思います。

〈2021年度表彰チーム〉

◆最優秀賞／学長賞

「myclinic.ng」

Aliyu Bello Aliyu
熱帯医学・グローバルヘルス
研究科 修士2年

◆優秀賞

「たびぶたい」

菊池将成
経済学部1年

◆奨励賞

「Plan Teas」

森 公希 経済学部総合学科3年

「波佐見焼Kigae
プロジェクト」

山羽 香穂 水産学部 2年



「教育で
健康問題を解決」

佐瀬 光雄 医学部医学科 1年

13. 長崎オープンイノベーション拠点 ラウンジNOVE & スタジオNOVEとは？

◆長崎オープンイノベーション拠点とは？

長崎オープンイノベーション拠点は、2020年7月、長崎大学、長崎県産業労働部及び公益社団法人長崎県産業振興財団により、長崎県の産業振興及び地域課題の解決を図ることを目的として締結された産学官連携に関する協定に基づいて設置された拠点です。長崎オープンイノベーション拠点を核として、長崎県の地方創生の実現と将来にわたる長崎県の持続的な発展を目指した活動が行われます。

◆ラウンジNOVEとは？

ラウンジNOVEは、長崎オープンイノベーション拠点の一部として長崎大学内に開設されたスペースです。NOVEとは「Nagasaki Open Innovation & Venture Empowerment」の略称であるとともに、ラテン語で「新たに」という意味を持ちます。ラウンジNOVEの場所は文教キャンパス工学部2号館1階オープンラボ1になります。

◆ラウンジNOVEのビジョン

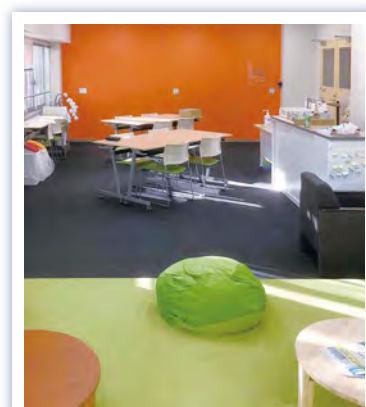
- ①ラウンジNOVEは、長崎大学の学生が自分自身の課題意識に基づいて問いを見出し、その問いの解決に向けて自発的に企画・発案したプロジェクト（学生プロジェクト）に取り組むことによって、多様な価値観を共有できる仲間と出会い、創造性を発揮して社会に新しい価値を生み出す実践の場を目指します。
- ②ラウンジNOVEは、学生同士のみならず、社会人（NOVEに訪問登録をした卒業生、教職員、行政、金融機関、起業家、社会人等）との交流を積極的に行うことにより、長崎におけるオープンイノベーションの発信地を目指します。

◆ラウンジNOVEの利用方法

学生プロジェクトに取り組む学生は、利用登録をすることにより、会議、セミナー、学生同士の交流・議論の場、学生プロジェクトに関わる社会人や教職員との交流・議論の場として、ラウンジNOVEを利用できます。ラウンジNOVEの利用を希望する方は、NFECまでメールまたは電話でお問い合わせください。

◆スタジオNOVEとは？

スタジオNOVEは、プロジェクトに取り組む学生の活動を支援するために開設されたクリエイティブスタジオです。動画等の製作・編集に利用できるPC・ソフトウェアやカメラ等の撮影機材、VRゴーグル、試作品の製作可能な3Dプリンタなどの機材が設置されています。場所は環境科学部 4F417号室になります。スタジオNOVEの利用を希望する方は、NFECまでメールまたは電話でお問い合わせください。



利用者の声



長崎大学
工学部2年 塩見 優樹

「受講のための手引き」を見て下さっている皆さんにお伝えしたいことがあります。それは「ラウンジNOVE」の魅力についてです。「NOVE」と書いてノヴァと読みます。「ラウンジNOVE」を一言で表すとしたら「アイデア」を「カタチ」にする場だと思います。ここには学生団体を運営している人、様々なプロジェクトに参画している人、動画クリエイターを目指す人、将来起業したい人などが集まるだけでなく、行政や金融機関で働いている社会人や経営者など、学内外の様々な人が訪れます。そのような環境で、自分のアイデアをブラッシュアップしたり、NOVEに来た人にアドバイスして頂くこともできます。特に、昼休みには、面白い先輩・後輩たちが訪れて賑やかです。インプットもアウトプットもできる「ラウンジNOVE」には、僕たちのアイデアをサポートして下さる先生や先輩だけでなく、プロジェクター、スクリーン、サブモニター、撮影機材一式、マイクなど皆さんをサポートする機材、起業やビジネスに関する書籍が並んだ本棚も備えてあります。さらに、テーブルやクッションを備えたスペースでは、皆でプロジェクトの打ち合わせをしたり、作業をすることもできます。私は、そのような「ラウンジNOVE」の運営に立ち上げ当初から携わることで「アイデア」を「カタチ」にする多くの仲間と出会い、ワクワクしてきました。このような出会いを皆さんにも体験してほしいと思っています。ぜひ、皆さん「ラウンジNOVE」まで足を運んでみてください！

NFEC及びスタジオNOVE、 ラウンジNOVEへのアクセス

Access Map

文教 キャンパス Map



NFECへの問合せ・質問等はメールまたはWEBサイトを通じてご連絡ください。また、NFEC専任教員との面談を希望される方は、WEBサイトまたはメールを通じてアポイントを取ってからお越しください。

新たにスタジオNOVEが開設されました

スタジオNOVE

環境科学部4F 417号室

FFG

アントレプレナーシップセンター

工学部2号館2F オープンラボ3(研究室)

ラウンジNOVE

1F オープンラボ1



◆NFECのWEBサイト

<http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp>



◆NFECのメールアドレス

ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp



NFEC教育／人材育成プログラム受講に関する最新情報は、
QRコードからWEBサイトにアクセスして確認してください。

<http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp>

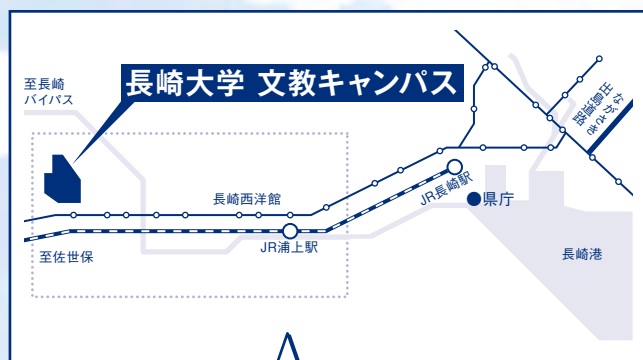


所 属

学籍番号

氏 名

How to Access



●JRをご利用の場合

JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

●浦上駅から路面電車をご利用の場合

○「浦上駅前」から「赤迫(あかさこ)」行き乗車

○「長崎大学」で下車(所要時間／約10分)

●浦上駅からバスをご利用の場合

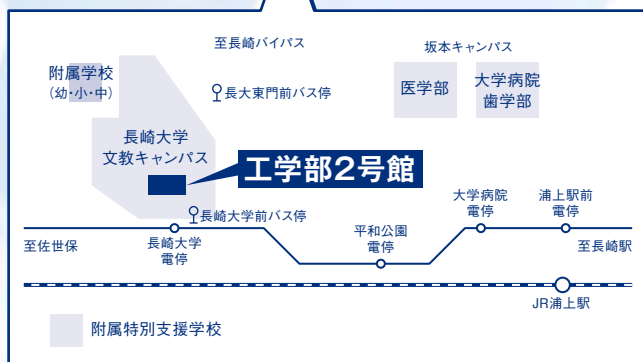
○「浦上駅前」から「滑石(なめし)・時津(ときつ)」等方面行き乗車、「長崎大学」で下車(所要時間／約10分)

●高速バスをご利用の場合

浦上経由長崎方面行きバス「昭和町(しょうわまち)」で下車し、徒歩で長崎大学東門まで約15分
あるいは長崎大学正門まで約20分

●航空機をご利用の場合

長崎空港(大村市)から浦上経由長崎方面行き長崎県バス「長崎空港リムジン」で
「長大東門前(ちょうだいひがしもんまえ)」で下車
(所要時間／約50分)し、徒歩で約3分



国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構

FFGアントレプレナーシップセンター

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14 長崎大学文教キャンパス工学部2号館2F
オープンラボ3(研究室)・1F オープンラボ1(ラウンジNOVE)
環境科学部4F 417号室(スタジオNOVE)

TEL 095-800-4121 (内線 4121)

お問合せ先

ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

お問合せ・ご相談につきましては、右記のQRコードからメールにてご連絡ください。

